



ユスリカの幼虫
1cm以下と小さい種類



ユスリカ
体長は0.5mmから1cm

5月下旬

こんな底生動物がいるかな？

きれいなところにいる生物

葛川 新西谷戸橋下流付近

きたないところにいる生物

「日本水環境学会」資料をもとに編集者
(野谷)が独自に判断

2020葛川をきれいにする会編



サワカニ
甲羅の幅は2-3cm



オナガサナエの幼虫
体長は0.5mmから1cm



オナガサナエ
体長58~65mm程度の
中型



オニヤンマ
メスが大きくメスの成虫の体
長は10センチを超える、



ギンヤンマ
成虫の頭から尾ま
では7cm



アメリカザリガニ
体長は8cm - 12cmほど



モクズガニ
国内に生息している
淡水産の蟹では最大
級で、最大サイズは
甲羅の幅で10cm程度



ハグロトンボの幼虫
幼虫(ヤゴ)は体長22~
26mmほどで、体色は淡
い褐色



ハグロトンボ
成虫の体長は57~
67mm

コオニヤンマ
成虫の大きさ 75-93mm



アメンボ
体長10.5-14.5mm



ヒゲナガカワトビケラ
の幼虫
40mmぐらい



ヒゲナガカワトビケラ
の成虫
27-48mm開張



ヒル
大きさは30mmぐら
い



ガカンボ幼虫



ガカンボ
蚊のお化けみた
いな虫

ヨコエビ類
多くは数mm程度
しかなく、1cmを超
える種は限られて
いる



ヘビトンボの仲間
大きさ(前翅長)50mm前
後;



ヒラテテナガエビ
約10cm。



シマトビケラ
体長5~6 mm

葛川に生息する主な魚類(コイを除く)

上流

「葛川をきれいにする会」調べ

下流

(2010年8月22日 2011年8月20日 2012年8月4日 2013年7月14日 2014年8月2日 調査)

田端橋上流	向根橋下流・旧一色分校横	ビッグ横 桜並木	西友駐車場横・新幹線鉄橋上流	妙見橋下流	花月橋下流	下浜橋上流・下流
-------	--------------	----------	----------------	-------	-------	----------

オイカワ

オイカワ(追河、*Opsariichthys platypus*)は、コイ科に分類される淡水魚の一種。西日本と東アジアの一部に分布し、分布域ではカワムツやウグイなどと並ぶ身近な川魚である。

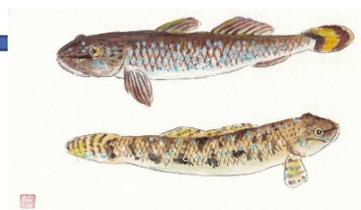


アブラハヤ

アブラハヤコイ目コイ科ウグイ亜科に属する淡水魚。鱗が小さく、体表のぬめりが強いことからアブラの名がある。地方名：ハヤ、ミノー、ヤマガオ、ムギクソ、ドロクソ、クソツパヨ、アツパへ、ニガツパヤ、...



ヨシノボリ



ヨシノボリ(葦登)は、アジアの熱帯・温帯の淡水から汽水域に広く分布するハゼの1グループである。「ヨシノボリ」という呼び名は特定の種類を指さず、ハゼ亜目ハゼ科ヨシノボリ属(*Rhinogobius*)に分類される魚の総称として用いられる。

シマドジョウ ドジョウ



コイ目ドジョウ科に分類される淡水魚の一種。日本の平野部の水田や湿地などに全国的に生息している。

シマドジョウ 体は側扁して細長く、体色は全体に肌色で、体側の中央部には黒っぽい円や楕円形の斑が縦に並んでいる

「葛川をきれいにする会」は2010年から2014年まで「葛川水生生物調査」を行いました。その結果をもとに作成したのが上記の表です。上流から下流まで「オイカワ」が多くみられ、上流では「アブラハヤ」も多くみられました。また、「シマドジョウ・ドジョウ」は「ビッグ」付近より上流で確認できました。